

凡例... 日(日程) 会(会場・場所) 内(内容) 対(対象) 定(定員) 講(講師) 出(出演) 費(費用) (記載の無い場合は無料) 持(持ち物) 申(申し込み) 問(問い合わせ)

市民のひろば

【あしや喜楽苑ギャラリー】

日 2月1日～9日「手作りのぬくもりをあなたにPART3」10日～17日「びんしゃん展」18日～28日「第4回さをり織り作品展」いずれも9時～17時 最終日15時まで 所 喜楽苑(☎34-9287)

【市民ハイキング】

日 2月4日(日)8時30分～ 所 芦屋川駅 摩耶山 王子公園駅 費400円(別途交通費) 持 弁当・雨具など 問 芦屋登山会・相塚(☎32-0628)

【芦屋17 倶楽部の催し】

日 2月5日(月)17日(土)26日(月)いずれも10時～12時 所 名画劇場「キリマンジャロの雪」しなやかストレッチ 脳げんき会 費200円 所 芦屋17 倶楽部・山野(☎35-0425 当日は☎35-2500)

【丹波の朝採り有機野菜市】

日 2月8日・14日・22日・28日、10時～ 所 関ワークホームつつじ・仁填(☎22-7044)

【浜風の家 2月のイベント】

日 2月10日(土)11時～11時45分 10日(土)13時30分～15時 17日(土)14時～15時 21日(水)13時30分～14時45分 24日(土)13時30分～15時30分 所 絵本のよみかかせ会 1日工作教室(貯金箱づくり) 歌とマリンパのコンサート3 コンピュータ講座(名刺作成) こまを作って遊ぼう 費4歳以上 問 要予約 所 浜風の家(☎35-5700)

【講座「歌風土記 兵庫県」】

日 2月11日(日)13時30分～ 所 富田碎花旧居 所 和田英子氏 費500円(資料代) 問 関角野(☎090-8825-1292)

【国際交流協会の催し】

日 2月17日(土)20日(火)24日(土) 所 A C A 所 セミナー「アゼルバイジャンってどんな国？」カルペディエムの会「フランス人が日本で暮らすこと」ひな祭り&スピーチパーティー 費 要予約 40人(要予約) 費500円 会員500円/非会員700円 持 1品持ち寄り(食べ物、飲み物など) 問 国際交流協会(☎34-6340)

【福祉バザーの開催】

日 バザー用品を提供下さい(日用品、衣料品、食料品、電気用品) 日 2月17日・18日10時～15時 所 関芦屋みどり福祉作業所・大沢(☎31-4001 春日町18-12)

【ふれあいポロリング大会開催】

日 2月18日(日)9時～ 所 神戸六甲ボール 費知的障がい者(児)とその家族1人・10組 費1人1,000円 日 2月6日(火)までに芦屋市手をつなぐ育成会・山杖(☎38-4044)へ

【明日の家族を考える会】

日 2月18日(日)13時30分開場 所 市民センター301室 内 裁判員制度 対 100人 所 北村春江氏(弁護士) 問 中村(FAX23-2488/Eメールinfo@wnw-ashiya.com)

【母と子のいこいの部屋】

日 2月20日・26日(火)10時～11時30分 所 図書館 内 0歳～未就園児と保護者 問 パルーン・津田(☎32-2610)

【健康山歩き・六甲全山縦走】

日 2月20日～3月26日(火)8時50分～16時 内 56km縦走路を5回で歩く 費 保険500円、交通費実費 対 15人 問 関 関 10日(土)まで ならくらく会・近藤(☎FAX23-2153)へ

【芦屋子育て支援講座】

日 2月23日(金)10時～11時30分 所 市民センター211室(託児あり) 所 藤本邦子氏 問 守舎(☎31-0887)

【環境処理センター見学会】

日 2月24日(土)9時30分～11時30分 所 環境処理センター 対 20人 問 関 あしやエコクラブ・岩野(☎23-1350 20時以降)

【わが町ええとこ見い～つけた!】

日 2月25日(日)13時30分～16時 所 市民センター 内 ええとこ100選・民話すごろくほか 問 Ti oクラブ(☎25-0177)

【セイドー外国語学院コンサート】

日 2月25日(日)13時30分開場 所 谷本華子(バイオリン)藤井快哉(ピアノ) 対 100人 費2,500円(ペア4,000円) 所 関 関 セイドー外国語学院(☎22-9452)

【初心者向ちびっこラグビー教室】

日 2月25日 3月11日、9時～12時 所 総合公園 中央公園芝生広場 内 幼稚園児・小学生 持 運動着・水筒 問 関 氏名・学年・連絡先を芦屋ラグビーソサエティ・佐々木(☎090-5156-6062 18時以降)へ

【ユネスコ世界遺産に親しむつどい】

日 3月2日(金)10時～11時30分 所 市民センター 内 ミラノの修道院と聖堂ほか 対 60人 所 武庫川女子大学名誉教授・森川恵昭氏 費月1,200円(5カ月前納) 問 関 関 イギリスカルチャークラブ・高津(☎22-7801)

【チアリングジュニアスクール説明会】

日 3月4日(日)10時～ 所 体育館・青少年センター 内 小学生の保護者向け説明会 持 筆記具 問 住所・氏名・学校名・電話番号・メールアドレスを右記へ 問 堀込(FAX 072-778-2266/メールhorigome@sports-f.net)

【黒沼ユリ子バイオリンリサイタル】

日 3月10日(土)13時30分開場 所 ルナ・ホール 費4,000円(前売3,500円) 問 片山(☎35-0383)

【社会人サッカーリーグ加盟募集】

日 4月スタートのリーグ加盟チーム募集 所 総合公園競技場ほか 問 関 関 2月20日(火)までに谷井(☎090-2011-1902)へ

ご入学おめでとう大会

日時 2月25日(日)午後1時30分～4時(1時開場) 会場 西宮市民会館・アミティホール 内容 キャラクターショー、映画、抽選会など 定員 新1年生と保護者500組1,000人招待 申し込み・問い合わせ 2月19日<必着>までに、はがきかファクスで、住所・氏名・幼稚園(保育所)名・保護者名・電話番号を記入し、神戸新聞社広告局業務推進部「ご入学おめでとう大会・西宮会場」係(☎078-362-7077/FAX 078-361-7802 〒650-8571<住所不要>)へ

金婚式夫婦祝福式典

日時 5月13日(日)午後1時～ 会場 西宮市民会館アミティホール 対象 昭和33年中に婚姻届を提出した県内在住のご夫婦 申し込み・問い合わせ 3月2日<必着>までに、所定の申込書に記入し、神戸新聞支社、総局、支局、販売所に持参または神戸新聞社地域活動局「金婚式」係(☎078-362-7087 〒650-8571<住所不要>)へ郵送。申込書は、市高年福祉課窓口、神戸新聞支社、総局、支局、販売所で配布しています。

酒蔵コンサート2007 酒蔵 de サルサ!

日時 3月17日(土)午後4時30分～ 会場 白鶴酒造資料館ホール(神戸市東灘区住吉南町4-5) 出演 ノラ(オルケスタ・デ・ラ・ルス)スペシャルサルサユニット、ファンタスティックス 定員 ペア80組160人 申し込み・問い合わせ ペアのみはがきかEメールで住所・氏名・年齢(20歳以上)・電話番号を記入し2月20日(火)<必着>で東灘区まちづくり推進課「酒蔵コンサート実行委員会」(☎078-811-0033 〒658-8570<住所不要>/Eメールh-suishinka@office.city.kobe.jp)へ

土中からのメッセージ

芦屋考古学再発見26

郷土地名の考古学(1) 「摂津」のおこりと芦屋

問い合わせ 生涯学習課 緯雲9066

私たちは普段になげなく土地に付けられた地名と接していますが、地名もそのものは無形とは言え、来歴をたどれば貴重な文化遺産です。今号からは、芦屋市と関係する地名の数々を地図や文献史料だけではなく、考古学の調査・研究から得られる情報をも加えて、考えていきたいと思います。

第一回は、芦屋地方が古代に属していた国「摂津」を取り上げます。摂津国は大河・河内・和泉・山城とともに畿内を構成する一國ですが、もととは「津国」として登場します(大宝令注釈書「集解」)。摂津と称するようになったのは和銅六年(七二二)に行政地名の二文字改正の布告が出てからですが、養老四年(七二二)

○編さんの「日本書紀」では、摂津で統一された後も、応神紀や舒明紀では古い表記が残っています。古代史に詳しいかたは、「摂津」という国より高位の役所があったことをご存じでしょう。国際的な港を治める施設が特別行政区として誕生した背景には、大化元年(六四五)の難波遷都が契機をなしたと考えられますが、大阪湾北岸の一角に武庫の水門、猪名の湊、敏馬崎の泊など、津国と呼ばれるにふさわしい数多くの良港があったからでしょう。この芦屋には、直接古代にさかのぼる良い津はありませんが、近接する神戸市東灘区の深江の入江は、芦屋市西部の津知遺跡なども関連して、外来的な文物が流入して行く門戸になっていきます。

古来の畿内地方で、摂津に特別な役割が与えられるようになるには、前史がありました。それは三世紀の古墳時代の始まりの頃にまでさかのぼります。「庄内式」と呼ばれる当時の土器をよく調べてみると、海上交通を使っている盛んな交流の足跡がたどれます。遠い所の人びとも、土器とともに当然一緒にやってきたわけで、摂津地域はそうした活発な動きの結節点となっていたようです。摂津という海や港と直接関係する国の成立は、邪馬台国の時代に芽生えたことが考古学の調査や研究によってわかります。芦屋と瀬戸内海とのつながりもその頃から濃いものになっていきます。

市ホームページ・バナ - 広告募集

掲載ページ 芦屋市ホームページのトップページ
広告料 1枠あたり月額15,000円(掲載期間1カ月単位)
縦60ピクセル×横100ピクセル(GIF形式)、4キロバイト以内
広告原稿は、フロッピーディスク等により提出してください。
広告料金は、市指定の納付書で納付してください。
広告の内容 市の広報媒体としての品位・公共性・公益性を妨げないものであり、市民に不利益を与えないものとします。
申し込み 「芦屋市ホームページ広告掲載申込書」に広告案を添えて、広報課へ。詳細は、市ホームページのトップページ「バナ - 広告募集」をご覧ください。

問い合わせ 広報課 緯38-2006(<http://www.city.ashiya.hyogo.jp>)

市制施行50周年記念写真集「芦屋のうつりかわり」を頒布

写真でみる芦屋の歴史

市制施行50周年(平成2年11月10日)に発行した記念写真集「芦屋のうつりかわり」の在庫本を、行政情報コーナー(市役所北館1階)ラポルテ市民サービスコーナーで頒布しています。



「芦屋のうつりかわり」
21.6×30.5cm / 135頁 /
紙表紙・銀箔押し(ハードカバー)
頒布額 500円



会下山遺跡と触覚模型

問い合わせ 広報課 ☎38-2006

「広報あしや」バックナンバーは、市ホームページ『広報あしや ON LINE』でご覧いただけます。